

**新 城 市
若 者 議 会
(第1回)**

平成29年6月5日 午後7時00分～

新城市議会 議場

司会／三浦企画部理事

企画部理事の三浦でございます。議長が決まりますまで進行を務めさせていただきます。

ただいまから、平成29年度、第1回新城市若者議会を開会いたします。

1. 辞令交付

司会／三浦企画部理事

初めに、辞令交付を行います。

代表して、天野瞳汰委員に交付をさせていただきます。

天野瞳汰委員、正面にお進みください。

市長／穂積亮次

辞令

天野瞳汰様

新城市若者議会委員を委嘱する

任期 平成29年6月5日から平成30年3月31日まで

平成29年6月5日 新城市長 穂積亮次

司会／三浦企画部理事

ありがとうございました。

なお、そのほかの委員の皆様におかれましては、それぞれ机の上に辞令をお配りしておりますので、御確認をお願いいたします。

2. 市長あいさつ

司会／三浦企画部理事

次に、穂積新城市長から御挨拶を申し上げます。

市長／穂積亮次

それでは皆さん、改めましてこんばんは。新城市長、穂積亮次です。

今、天野委員に代表して、委嘱辞令を交付をさせていただきました。皆さん、各議員の一人一人に委嘱辞令がお手元にあるかと思えます。今、ただいまをもって、皆さんは第3期の新城市若者議会の正式のメンバーとなり、任期いっぱいまで、その任務を果たしてもらうこととなります。

最初の議会ですので、きっと皆さん、緊張していると思えますけれども、これから約1年間にわたり、若者議会としての活動を担っていただくその最初の第1歩であります。

まずは、よくぞ若者議会に応募していただきました。そして、若者議会のメンバーとして入っていただきました。市民を代表して心から歓迎と感謝の意を表したいと思えます。

この若者議会は、既に御存じのとおり、今年で3期目となりますが、1期目の前には、新城市のユース会議、若者会議が立ち上がって、若者が活躍できるまちにどのようにして新城市を変えていくのか、強くしていくのか、そういう議論を重ね、また、市民自治会議

という自治基本条例をつかさどる会議がありますけれども、その中で若者政策の在り方等々議論する中で、全国初の若者議会条例、若者条例を制定をすることに至り、この若者議会が設立されました。

これから、この若者議会を通じて、この議場にいる仲間たちと切磋琢磨し、議論を交わし、政策をつくり、まちづくりをいろいろと学ぶことになると思います。

この若者議会は、言うまでもなく君たち自身に多くの学びと成長の機会を提供します。が、同時にそれだけではなくて、この若者議会は、新城市政を担う一番若い力そのものがあります。つまり、君たちは学ぶだけではなくて、まちづくりを担い、それを進める主体者であるということです。そういう責任もありますけれども、それに伴う喜びや楽しさ、あるいは仲間の連帯意識などが、この中を通じてはぐくまれていくと思います。

多くの皆さんは、御家族の皆さんの御支援や御協力、学校の協力、あるいは勤めていれば勤め先、あるいは大学や専門学校などなど含めて、周りの皆さんの支えの中で、この若者議会に登場していただけていると思います。そのことに感謝をしながら、また、メンター職員、市の職員そして、若者議会を経験したOBやOGの皆さんたちが心から皆さんを歓迎するとともに、一生懸命支えてくれると思います。どうか若さを力にさせていただけるように、そして思いきり自分の可能性をこの中でぶつけてみてほしいと思います。それがとりもなおさず、新城市が、若者が活躍できるまちとなるための大きな力となるはずです。

皆さんの1年間の頑張りを期待をし、また、これからの活動でたくさんのすばらしい経験を積み、そして新城をよりよくしてもらえるように、心から期待を申し上げまして、最初の御挨拶といたします。

どうかよろしく願いいたします。

司会／三浦企画部理事

ありがとうございました。

3. 若者議会議長選出、副議長指名

次に、若者議会の議長の選出を行います。

新城市若者議会条例第5条第2項では、議長は委員の互選により定めることとなっております。

前もって議長立候補の申し出を受け付けさせていただきましたが、加藤稜唯委員お一人のみであり、他の委員の申し出はありませんでした。

したがって、加藤稜唯委員が議長に選任されることとなりますが、異議がなければ拍手をもって御賛同をお願いいたします。

(拍手)

異議なしと認めます。

加藤稜唯委員が議長に選任されたことが決定をいたしました。それでは、議長に選任されました加藤稜唯委員から御挨拶をいただきます。

また、新城市若者議会条例第5条第2項におきまして、副議長は議長が指名することとなっておりますので、挨拶に続き、副議長の選任につきましてもお願いをいたしたいと

思います

それでは、加藤稜唯議長、前のほうへお進みください。

議長／加藤稜唯委員

第3期若者議会議長を務めさせていただきます、加藤稜唯です。よろしく申し上げます。

まずは、私が若者議会に応募した理由を述べさせていただきたいと思います。私がこの若者議会に応募した理由は、ある2人の友人の言葉がきっかけであります。

1人目の友人は、昨年度まで新城市鳳来町のほうに住んでいた友人です。彼は、今年度から愛知県内の市外の大学のほうに通うことになり、そこで私は彼に、こう尋ねました。大学を卒業したあと、君はこの市に戻ってくるのかと。彼は、この市には、何もないと。遊ぶところもなければ、買い物をするところもない。町に出かけていくのにも、家から10分、20分車に乗って駅まで行って、そこでまた1時間、2時間あるかないかの電車を待って、それでまちのほうに出ていくんだと。だから僕は、こんなところに帰って来ても何のメリットもないから帰ってくるつもりはないと、そう言っていました。

もう1人の友人は、これは市外の友人で東栄町のほうに住んでいる子なんですけれども、彼と話をしている、ある話の中で彼は、新城市についてこう言いました。

新城市には、まだまだ特産物、そして歴史的な文化、観光の資源になるものがまだまだたくさんあるじゃないかと。そして、何より近年、新東名高速道路が開通した。これを使わないのはとてももったいないことと、彼はそう言っていました。

私は、この2人の話を聞いて、大変悔しく思いました。そして、自分でじゃあ何かアクションを起こせないかと考えたところ、新城市にはこの若者議会、そういったものがあると知り、今期応募させていただきました。そして、何とかこのように選任させていただいて、議長を務めさせていただくんですけども、では、議長として、ことし、どのようにやっていくのかということなんですけれども、私は議長として、やはり他の委員と比べて多くのこういった会であったりとか、ものに参加していくことになるんじゃないかと思っています。そんな中で、私の活動を見てもらって、また報告を聞いてもらうことによって、新城市の若者が1人でも市政に対して、新城市に対して考え直すきっかけをつくっていただければと、そのように思っています。

最後に新城市の若者にお願ひがあります。

ぜひ、声を聞かせてください。第3期、市外委員を含め、25人ここにいますけれども、やはりそれだけでは新城市の若者全体のニーズを拾いきれるとは思っていません。本当に小さなこと、例えば、バンドを組んだんだけど、発表する場がないので、そういうのを一緒に企画してくれないとか、それからまた、電車の本数が少ないからどうにかしてくれとか、本当に何でもいいんです。小さいことから、大きいことまで、できそうなことから、できなさそうなことまで何でもいいので、ぜひ教えてください。新城市の若者議会には、ネットで調べればホームページも出てきて、メールの投稿フォーム等もありますので、ぜひ話を聞かせてください。それが先ほど穂積市長のほうから言われた、まちづくりをする者の主体となる者としての第一歩になるのではないかと私は考えています。

第3期、今期1年間、いろいろ事業があると思いますけれども、一つ一つ一所懸命に

頑張っていきますので、どうぞよろしく申し上げます。

(拍手)

司会／三浦企画部理事

ありがとうございました。

それでは、次に加藤稜唯議長から副議長の指名をお願いいたします。

議長／加藤稜唯委員

それでは、副議長の指名をさせていただきます。副議長は、丸山綾香委員、よろしく申し上げます。

司会／三浦企画部理事

それでは、丸山綾香委員、副議長として、その場にお立ちください。

御挨拶をお願いします。

副議長／丸山綾香委員

副議長になりました丸山綾香です。女性、高校生、若者としての視点や立場などを生かして議長をしっかり支えて、サポートできるように頑張ります。

1年間よろしく申し上げます。

(拍手)

司会／三浦企画部理事

ありがとうございました。それでは、1年間よろしくをお願いいたします。

4. 諮問

司会／三浦企画部理事

続きまして、若者議会の体制も整いましたので、市長から若者議会への諮問を行います。

それでは、加藤稜唯議長、よろしくをお願いいたします。

市長／穂積亮次

新ま7・2・1

平成29年6月5日

新城市若者議会議長 加藤稜唯様

新城市長 穂積亮次

若者総合政策の実施に関する事項について（諮問）

このことについて、新城市若者議会条例第2条に基づき、下記の事項について若者議会の意見を求めます。

記

1. 諮問事項 若者総合政策の実施に関する事項について

2. 回答期限 平成30年3月末まで

以上です。

よろしく願いいたします。

司会／三浦企画部理事

ありがとうございました。

それでは、これから1年間、この諮問書に基づきまして、しっかりお取り組みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

これより新城市若者議会条例第6条第1項の規定により、加藤稜唯議長に進行をお願いいたします。

それでは、加藤議長、よろしくお願いをいたします。

5. 所信表明

議長／加藤稜唯委員

それでは、所信表明を行います。

また、今年度の若者議会では市外委員として5名の方々に参加していただいております。市外委員にも所信表明をしていただくことに対して、異議がなければ拍手をもって御賛同をお願いします。

(拍手)

それでは、若者議会委員及び若者議会市外委員の方々に、お一人ずつ所信表明をお願いしたいと思います。

初めに、天野瞳汰委員、お願いします。

天野瞳汰委員

私は、いつも通学で湯谷温泉の温泉街を通り、湯谷温泉駅を使用しています。私は、もともと湯谷に住んでいる人間ではありませんでしたが、中学のときに引っ越して、湯谷にやってきました。親の実家がもともと湯谷にあり、小さなころからよく遊んでいましたが、最近湯谷の変化によりやく気付きました。

例えば、駅の近くにあった食べ物や飲み物を売っているコンビニのようなお店が、駅が無人化になるなど、ささいな変化が起きています。

また、家族の会話の中では、最近お客さんが少しずつ減ってきたなどと話すことも多くなりました。このような変化は、湯谷だけではなく、新城全体で少しずつ起こっているのではないかと私は思います。

私は、湯谷や新城のことをすべて知っているわけではありませんが、新城のよい場所、風景、自然など残していかななくてはいけないところがたくさんあると思います。

私は、若者議会で観光PRをメインに扱うグループに入りました。現在、高校を卒業して大学に出ると、市を離れてしまうことが多くあります。卒業したあとにも戻ってこようとしても、仕事がなかったり、住みにくい場所などと理由があり、戻ってこない人も多くいると思います。観光PRとは、関係ないことかもしれませんが、私たちの未来にとっては大切なことだと思います。なので、私たちは、視野を広く持ち、いろいろなことを考えて、新城をよりよいまちにしていくことが必要だと私は思います。なので私は、この若者議会を知ったときに入ろうと思いました。

以上です。

議長／加藤稜唯委員

次に、伊藤翔音委員、お願いします。

伊藤翔音委員

僕が今季の若者議会に入った理由は、新城市のよいところを市外の人たちにしっかりと伝えられるようになりたいからです。

僕の姉は、第2期の若者議会に入っており、僕に絶対に入ったほうがいいよと強く勧めてきました。でも、最初はあまり興味を持とうとはしませんでした。ですが、市外の友達が僕の家遊びに来たとき、外で遊ぼうとしましたが、遊べる場所が思いつかず、その日はずっと家の中で遊んでいました。なので、自分からもっと新城のことを知って、市外、県外の人から魅力的に思われるようなものをつくりたいと思い、新城若者議会に入りたいという思いが強くなりました。

僕は、先日行われた準備会で、広報部の広報・PRチームに入りました。ですので、今後は、新城のことや若者議会のことをたくさん調べて、だれよりもそのことについて知り、ラジオなどでそれらのことや、これから行うこと、そのメリットなどをたくさんの人たちに伝えていきたいと思います。そのためには、ほかのチームとの連携が必要となってくるので、自分のやることだけに集中せず、広い視野を持ち、さまざまなところに目を向けていきたいと思います。

広報・PRチームは、人前に出ることが多いのですが、僕は非常に緊張しやすい体質で、毎回緊張するかもしれませんが、たくさん経験して、緊張に強くなっていきたいと思っています。

それに加えて、僕は広報部のリーダーになりました。僕は今まで、人をまとめる係になったことがあまりなく、不安なことは山ほどありますが、役員やメンターの方々に相談して、徐々に不安要素を減らしていき、できるだけ早くスムーズに会議を進行し、意見をまとめていくことができるようになりたいと思っています。

最後に僕が目指している若者議会は、新城市若者議会が教科書や、資料集に載って、新城市街の道行く人に、若者議会って何ですかと尋ねたら、みんな答えてくれるような、そんな知っていて当たり前ぐらいのものに育てていきたいと思っています。

以上です。

議長／加藤稜唯委員

次に、河田瑞貴委員、お願いします。

河田瑞貴委員

僕は、若者議会を高校1年の後半になるまで、正直よく知りませんでした。一体何をやっているのかなと、選出されたという通知を1年生のとき見て思っていました。日がたち、ふと若者議会のポスターを見たとき、若者議会が何を行っているのか気になり、2期の若者議会に入っていた子に聞いてみました。若者議会って、何をやっているのと。そし

たらその子は、いろいろなことを教えてくれました。図書館のリノベーションをしたり、いろいろな場所へ行って、宣伝したりなど、さまざまなことをやって新城市を盛り上げるために頑張っているんだなど、僕はとても感心しました。僕はさらに気になってしまい、若者議会のホームページを見て、今まで何を行ってきたのかなど、たくさんの人のことを知ることができました。そうしているうちに、僕もやってみたい。もっと新城を盛り上げたいという気持ちが僕の中でとても強くなってきました。

それに、僕の住んでいる黄柳野という地域も盛り上げたいなという気持ちも膨れてきました。黄柳野は、それこそ若者が全くおらず、高齢者がとても多いです。信号もなく、電車も最寄り駅から10キロメートルぐらい離れており、バスもほとんどありません。僕が30歳ぐらいになるころには、本当になくなってしまわないかと、不安になっています。

ですが、僕は自然豊かな新城がとても好きです。なので、まず若者議会で新城を盛り上げ、黄柳野へとつながるように頑張っていきたいと思っています。そして、過去の僕みたいに、若者議会のことをあまり知らないという人もいます。そういう人にも、若者議会のことを知ってもらうためにも、自分から情報を発信していきたいと思っています。

しかし、今、本当にしっかりとやっていけるか不安に思う自分もいます。僕は今、生徒会執行部に入っています。これから、生徒会執行部の仕事も忙しくなり、勉強のほうも頑張らないといけません。そんな忙しい生活の中で、しっかりと集中して考えることが自分にできるのか、今から不安です。しかし、もう後戻りはできません。これから大変になるとは思いますが、若者議会で自分の意見をしっかりと持ち、少しでも新城をよりよい方向に変えられるよう、自覚を持ち頑張りたいです。

僕は、新しいことが好きなので、新しい意見をどんどん取り入れ、柔軟な発想でこの新城に貢献していきます。

以上です。

議長／加藤稜唯委員

次に、権田鈴花委員、お願いします。

権田鈴花委員

今回、若者議会委員に任命されました、新城東高校の権田鈴花です。

私は、昨年参加した若者議会シンポジウムがきっかけで若者議会に入ろうと思いました。それまで私は、若者議会というものをあまりよく知りませんでした。ですが、委員の皆さんと一緒に政策を考えることで、若者議会というものを肌で感じることができ、今、若者議会がどんなことをしているのか知ることができました。

そして、自分の生まれ育った地域について考えることがどれだけ楽しいことか知ることができました。私も新城市民の一員として、新城市をよりよい市にしていくための政策を考えていきたい、そう思うようになりました。

私がこれから担当していくのは、バブルサッカー健康教室と、まちなみ情報センターの2つです。新城市は愛知県の中で生活習慣病患者が1位と聞きました。バブルサッカー健康教室では、市民の皆さんがより楽しく、健康づくりができるようにしていきたいです。

さらに、まちなみ情報センターの愛称、「もっせはーと」もさらに広めていきたいです。

私自身、委員としていろいろな人とコミュニケーションを取り、新城の魅力をたくさん伝えていきたいです。遊びや運動を通して若者が集う場所がもっとふえたら、そして新城市外に住んでいる方にも、さまざまなイベントに参加してもらおうきっかけになればいいなと思っています。新城に住んでみたい。そう思ってもらえたらよりうれしいです。

政策を通して、新城市ってこんなにいい場所なんだ。新城、また来たい。たくさんの人にそう思ってもらえるよう、精いっぱい頑張りますので1年間よろしく願いいたします。

議長／加藤稜唯委員

次に、杉本麻郁子委員、お願いします。

杉本麻郁子委員

私は、大好きな新城市の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたいと思い、若者議会に参加しました。

新城市には、壮大な歴史や豊かな自然など、さまざまな魅力があります。私が新城市出身の若者として誇りに思っていることは、空気がきれいなことや、夜になると星が見えること、季節ごとにいろいろな植物が育つことなどたくさんあります。このような魅力を市外の人に知ってもらえれば、さらに多くの人に新城を好きになってもらえると思います。

しかし、私がまだ知らない魅力もあると思うので、自分でも勉強しながらたくさんアイデアを出し、さまざまな方法で新城をPRしていきたいです。

それから、私はおとしにアメリカのテキサス州サンアントニオ市で行われた長篠とアラモの交流記念式典に参加させていただきました。新城に住んでいる人の中には、なぜ交流が行われているのかを知らなかったり、そもそも長篠とアラモの関係性を知らないという若者も多くいると思います。この長篠の戦いとアラモの戦いの関係性を広めて、今後、新城市とサンアントニオ市の間で若者同士の交流をさらに発展させたいです。

また、歴史の面からも新城市をPRすることで、より多くの人に新城に興味を持ってほしいと思います。

市外に住む人に、新城はいいところだと言ってもらえるように、また、市内に住む若者が新城は自慢のふるさとですと言えるように、若者議会委員としてさまざまな政策を提案し、精いっぱい頑張ります。

議長／加藤稜唯委員

次に、山崎ランサム祈璃恵委員、お願いします。

山崎ランサム祈璃恵委員

私は、母親がアメリカ人で父親が日本人です。5歳のときまでアメリカに住んでいて、それから新城に引っ越してきました。新城は、自然が豊かで歴史も深く、観光するところもたくさんあり、とても魅力的なまちです。

しかし、私の友人には、新城はいなかで、遊ぶところがピアゴしかなくて、スタバもなくて、電車も全然来ないという不満な声がよく聞かれます。しかし、私は豊橋の学校に通うようになったり、東京に行ったりすると、とても新城は空気がきれいで、落ち着いた住みやすいまちだなと思うことがあります。

そんな私の好きな新城市の若者議会に入ろうと思ったのは、まちづくりに興味があるからです。私は以前、新城ユースの会のイベントや若者議会のシンポジウムなどに参加したときに、まちづくりについて話し合う機会が何度かあり、そのときにいろいろな人の意見を聞きながら、自分の意見も言い、もっといい案を出していくというのがすごく楽しい、そしてやりがいがあるなど感じました。なので、自分もいつかまちづくりにかかわってみたいなと思っていました。

また、私は今回、教育ブランディングチームになって、自分の母校である新城中学校で、年末にワークショップを開き、参加することになりました。アクティブ・ラーニングという、先生だけでなく生徒も授業に活発に参加していくという教育方法をもっと取り入れていこうという先輩方の考えも大切にしながら、自分たちも新しいアイデアを出していき、もっと新城の教育が活発になっていけたらいいなと思います。

新城の若者に小中学校の小さいころから、新城まちづくりに興味を持ってもらい、将来自分のまちである新城に滞在していきたい、より多くの若者が新城に滞在していただけるような、そんなまちにしたいというのが私の理想です。

新城のために若者らしいよさを生かしながら、貢献できるように頑張りたいので、よろしくお願いします。

議長／加藤稔唯委員

次に、土谷 涼委員、お願いします。

土谷 涼委員

期待と不安、この思いが選ばれてからずっと残っていました。期待は、これから自分たちが引っ張っていくんだという気持ちで、不安は先輩たちがつないできたたすきを引き継げるかどうかということです。

僕が新城若者議会に参加した理由は、若者に防災のことをもっと知ってもらいたいと思ったからです。なぜ、防災の意識を持つのが大切、必要なのか。防災への関心が薄いということが1つの理由です。

関心が薄い理由としては、自分たちには関係がないというのが大きいと思います。日本国内でも東日本大震災や、阪神淡路大震災、熊本での震災など多くの災害が起きているにもかかわらず、若者がそれに関して何の知識もなく、ただただ風化していくだけのものにしていくのが、自分として嫌なのがあったからです。

そのためにはまず、身近に防災を感じてもらうことが必要だと思いました。僕はこの若者議会に参加する前に「禰」の活動にも参加しており、「禰」でことしのテーマは、地域防災ということに決まり、この地域防災というテーマを若者議会にも取り入れようと思っています。僕は、ブラッシュアップチームのリーダーにもなり、これから人をまとめていくのが大変だというのは、去年体験しました。自分がこれからどう引っ張っていくか、

すごい不安ですが、できるだけ迷惑をかけないように頑張ろうと思います。

もともと自分は、新城ではなく平成大合併の前に作手に住んでいました。なので、多角的な視野を持っていると自分は思っています。その視野を生かしながら、防災だけではなく、ほかの活動に参加し、もっと視野を広げ、新城を世界へ有名にしていきたいと思えます。

以上です。

議長／加藤稜唯委員

次に、浪崎夏華委員、お願いします。

浪崎夏華委員

まず、私が新城若者議会に参加したのは、新城のことが好きというのが一番大きな理由です。住んでいるところを聞かれ、新城市という名前を相手が知らなくても、あの有名な戦いがあったところだよと答えるだけでわかってもらえ、歴史、観光名所、緑、自然がたくさんあり、魅力がいっぱいだからです。

私は、新城市で生まれて住んでいること、本当によかったなと思っています。そして、その新城市のためにできること、若者議会だと私は思いました。新城をもっと、もっと住みやすく、安心して暮らせること、安心できること、よりよい新城市にしたい、そう思いました。

今だから考えられることで、出てくる案、できることがあると思います。なので、今、高校生のうちに参加させていただきました。

私は今まで、考え、案を言うような機会が少なく、消極的で自分の案はうまく出せなくて、得意ではありません。ですが、どんどん自分の考え、意見、案をこれからは言えるようになっていきたいと思っています。

そして、私は若い人が、年配の方々とお話しする機会をつくる、おしゃべりチケットを担当させていただきます。

母からや、周りの人の話、今までの私の経験などを生かして、考えを広げて、よりよいものにしていきたいと思っています。

心配なことがたくさんあって、不安でいっぱいですが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

議長／加藤稜唯委員

次に、丸山綾香委員、お願いします。

丸山綾香委員

今回、第3期若者議会3期生に選任されました、新城東高校の丸山綾香です。

私は、生まれも、育ちも新城ではありません。高校に入るまで、新城のことは全く知りませんでした。高校に入学して、初めて新城へ足を踏み入れたとき、何もわからず不安でいっぱいだった私に地域の方が声をかけてくださり、不安が和らいだこと。初めて新城駅に行ったときに、新城へようこそと書いてあり、とてもうれしかったことを今でも覚え

ています。地域の方、高校の友達など、新城の方はとても優しく、いい人が多く、とてもいいまちだなあと、私は感じています。そんな新城が大好きです。

今、高齢化や少子化などで新城が危機だということを耳にしたとき、他人事ではない。たくさん助けてもらい、支えてもらっている分、今度は自分も積極的に政策に参加し、大好きな新城に恩返しをしたいと思い、今回の若者議会に参加しました。

私は、市外に住んでいるので、ほかの委員さんと比べると、新城のことは全然詳しくないです。ですが、ことし1年の取り組みの中で、だれよりも詳しくなれるように頑張ります。

また、外から見た視点や、若者の視点を今回の政策など、これから生かしていきたいと思います。よろしくお願いします。

議長／加藤稜唯委員

次に、森野なつみ委員、お願いします。

森野なつみ委員

私は、新城高校2年の森野なつみです。

私がこの若者議会に参加した理由は、昨年からまちなみ情報センターで開催されているボードゲーム大会などのイベントに参加して、私も新城を盛り上げたいと思ったからです。イベントを通していろいろな人に新城のことを知ってもらい、新城の方には、新城をもっと好きになってもらえるように、まちなみ情報センターをたくさんの方に使用してもらえるようにしたいと思っています。

将来私は、新城を出ると思います。でも、新城を出ても新城に帰ってきたいと思えるような場所にしたいと思い参加しました。たくさんの人にそう思ってもらえるように頑張りたいと思います。

ことし1年よろしくお願いします。

議長／加藤稜唯委員

次に、瀬野航太委員、お願いします。

瀬野航太委員

皆さん、こんばんは。新城東高校1年の瀬野航太です。

僕が初めて新城の議会に参加したのは、中学生議会でした。そのときは、自分の住んでいる地域の安全性について考え、街路灯の数や明るさについて質問をしました。その際、自分の地区を自転車で回って調べてみたり、旧鳳来町のほぼすべての地区を夜、父と一緒に車で回ったことを今でも覚えています。とても印象に残っていて、興味深い体験をすることができました。

僕は、その経験から考える楽しさや、仲間と一緒に話し合うことの大切さを学びました。若者議会の広報・PRチームということで、まず考えたのは、新城と名古屋の間を通っているバスの有効活用です。若者議会をPRする上で、ただPRするのではなく、意味を持ったものにしたいと思います。名古屋で広報活動をして、さらに新城の魅力について

もいっしょにPRすることによって、より多くの方がバスを利用してくださるのではないかと感じました。

新城の魅力について、僕が一番すばらしいと思うのは、歴史についてです。今では、教科書にも載っているものもたくさんあり、これは本当に自慢できるものだと思います。特に長篠の戦いでは、毎年5月にのぼり祭りが開催され、遠くのほうからもたくさんの方が訪れます。

ほかにもたくさんの魅力があるのではないかと思います。それをまず、自分が知り、そこからどのようにPRしていくのかを考えていきたいです。

若者議会に入り、新しい体験がたくさん待っていると思います。高校1年生で、まだまだ未熟なところもあると思いますが、自分なりの視点で意見を出したり、考えたりしたいと思います。

また、若者議会の1,000万円の予算は、税金です。1円たりとも無駄なものにせず、慎重に考えていきたいです。楽しみもありますが、もちろん不安もあります。大変なこともあると思うのですが、みんなで乗り越えたいです。

ことし1年間3期生として頑張っていきます。よろしくお願いします。

議長／加藤稜唯委員

次に、山本青空委員、お願いします。

山本青空委員

毎日、何気なく生活をしているこのまち。愛知県の東に位置し、山に囲まれ、自然がたくさん。それが僕たちの住んでいるまち、新城。こんな僕たち若者が、新城をもっとよくし、盛り上げ、PRする活動が自分の耳に入ったとたんびっくりしました。こんな僕がどうやって新城を盛り上げていくんだらうと不安でした。

中学から防災委員会に入っていて、毎年、毎年、新城市出初式に参加してきました。初めは、何気なく参加してきました。でも去年、あまりにも同級生が防災の意識が低いということが改めて感じました。なので、今年1年、若者議会に入り防災の意識を高め、若者が興味を持ち、防災のイベントを開催したりしていきたいです。そのため、どうやって多くの若者がイベントに参加するかは、広報活動です。いまでは、SNSという便利なものが出てきています。でも、自分はSNS、ポスターなどではなく、自分たちが呼びかけ、参加をしてもらう、自分たちが率先して自分たちが呼びかけ、自分たちが動き行動する。それが一番だと思います。自分たちが呼びかければ、一番伝わり、若者など、行こうかなと思うと思います。自分が今思う、今の若者に大切なのは、やる気、行動力そして、若さです。やる気は、何事にも全力で行動し、行動力は、気づいたらまず行動、若さは、若者がいるだけで自然と元気になったりすると思います。なのでこの1年、3期生のメンバーと2期生メンターと協力しながらもっと新城をよくしていきたいと思います。

議長／加藤稜唯委員

次に、瀬野尾悠斗委員、お願いします。

瀬野尾悠斗委員

3期生の若者議会の委員になりました、新城高校所属、瀬野尾悠斗です。

僕は、新城市で生まれ、新城市で育ちました。僕はこの緑豊かな新城が大好きです。

僕の同級生などは、高校を卒業したら都会に出たいという人が多くいます。都会は交通の利便性もよく、店も数多くあり、また就職先もたくさんあります。なので、都会に出たいという気持ちもよくわかります。ですが、僕はこの自然あふれる新城で、ずっと暮らしていきたいと考えています。

僕が小学校のときには、各学年に2クラスずつあり、にぎやかでした。ですが、今は1クラスずつしかないと聞きました。このまま子どもの数が減少していったら、新城市は高齢者が人口の大半を占めるようになり、発展が望めなくなってしまうのではないかと考えています。この先の新城市を発展させるためには、若者が地元に残りたいと思える市にしていかなければなりません。僕自身が新城市のよさを、内外にアピールすることができないだろうかと考えていたときに、若者議会のことを知りました。

若者議会には、いろいろな事業があり、どれも新城市をよくできるもので、どれもやってみたいと思いましたが、僕はその中で、図書館リノベーションを選びました。だれもが気軽に利用でき、年齢問わず楽しんでいただけるような図書館をつくっていきたくと考えています。具体的には、少なかった開架図書をふやしたり、イベントを開き多くの人を呼び込み、図書館を活性化していきたいと思っています。

1期生、2期生が残してくれたものを引き継ぎ、3期生として新たな視点から新城をもっとよくしていきたいと思っています。1年間、精いっぱい頑張ります。

以上です。

議長／加藤稜唯委員

次に、夏目萌衣委員、お願いします。

夏目萌衣委員

第3期若者議会の委員となりました、新城高校の夏目萌衣と申します。

最初にこの若者議会の委員に選んでくださった、市長さん初め、市役所の皆様、委員になってみたら、と声をかけてくださった先生方にお礼を言いたいと思います。ありがとうございます。

私は、旅行などに行って帰ってくるとほっとできる、新城市が大好きです。そんな新城市を私たち若者が力を合わせて変えることができる数少ない機会に参加することができ、とてもうれしいです。

私は、教育部ブランディングチームに入らせていただきました。そこで私が取り組んでみたいことが2つあります。

1つ目は、史跡を中心とした市内の名所を知っていただく機会をつくりたいと思います。私は、東郷中学校出身で、学区の小学生と合同で設楽原決戦場まつりで、戦いの劇をしました。見てくれた方から拍手をもらい、うれしかったです。私は、東郷中学校で経験できましたが、そのような機会が少ないと思います。

新城市には、設楽原だけではなく、史跡などの名所があると聞きました。私もまだま

だ知らないところがたくさんあるので、子どもたちに楽しく知ってもらえるような、体験型のツアーを企画したいと思います。

2つ目は、来年、選挙権を持つことです。実際に18歳選挙権で、投票に行った先輩に聞いても全くイメージができません。これは、一緒に聞いていた友達も同じ感想でした。また、怖いといった友達もいました。そうした不安を解消する企画をつくりたいです。

公民を学習する中学3年生を中心に、新城市の課題などを現場に出向いて把握する場を設けることで、一緒に不安を解消したり、まちに関心を持ってもらえるようにしたいです。子どもたちに新城市が好きになってもらえるように、また、まちに関心を持ってもらえるように、若者議会の皆さんと頑張りたいです。そして、私自身ももっと新城が好きになりたいです。

以上です。

議長／加藤稜唯委員

次に、黒田成哉委員、お願いします。

黒田成哉委員

今回、第3期若者議会の委員を務めさせていただきます、黒田成哉です。

私がこの議会をやろうと思ったのは、自分の住んでいる村のことです。僕の住んでいる吉川という地区は、本当に何もありません。ずっと前からお店もなく、本当に住んでいるだけという地域になっています。

そして、この議会を一番に勧めてくれたのは、前回やっていた委員さんです。同じ中学ということもあり、たびたび話しをしていたら、この若者議会が一番いいよという話がつき、今回応募させていただきました。

2つ目は、新城市をもっと考えたかったからです。2年前に自分の高校である作手校舎で、地区について考える機会がありました。そのときに、地区として考えたことは、とても人数が少ない、高齢者が多い、また、若者の力がとても弱いということです。この新城市でも若者が活躍するという場がとても少なく感じています。若者が活躍する場をつくるということが本当にあれば、若者からの目線で、この新城市をもっと改善できるのではないかと考えました。そこに、この若者議会というものを僕は知りました。テレビでこのことを報道され、実際に聞いたとき、これは一番チャンスがある、応募できるときに応募してみようと思い、今回応募用紙が来たときに、すぐに一目散に応募用紙に書き込みました。

そして、3つ目は、この新城市を深く考えたいということです。新城市には、観光名所というものがたくさんあり、新城市内だけでも数多くあります。新城市内は、とても交通網が発展していませんが、近年、新東名高速道路も開通し、交通の便が少々良くなってきています。この新東名を活用した対策が一番いいと思います。

また、新城、名古屋間をつなぐバスもでき、もっと大都市から来られる方もふえるのではないかと感じています。

また、近年ニュースで一番話題とされている、少子高齢化、それが僕が一番気になったことです。高齢者はふえるのですが、若者は減っていく。これがとても目につきました。

僕の住んでいる地区でも若者はおらず、高齢者がふえるばかりで、とても大変なことになっています。

ですが近年、地区でいろいろとイベントを開催したところ、地元の実家を持つ若者が戻ってきてくれたり、新しく入ってきてくれたりして、ちょっとずつ若者がふえていっています。これは、自分たちの地区が少しずつ上向き傾向に向かっているということです。

そして、僕の地区で毎年春に行われる神社でのお祭りでは、今までは地区だけのイベントになっていましたが、2年前からは外からのイベントも募集し、第1回目は、チェーンソーアート、第2回目、第3回目は、大道芸と多くの人々を呼び込んでいっています。これは、僕の住んでいる吉川という地区が少しずつ発展傾向にあると感じています。

ですが、その一方、僕の地区には全く商店がありません。これは新城市の地区をとってみてもほとんど事例のないことです。2年前までは2件あったお店も、今年の4月で2件とも閉店してしまい、現在は住んでいるだけという、本当に貧しく何もない地域です。

新城市へ出ていくのであっても、車を使ってでも15分、便の少ないバスを使っても30分はかかってしまいます。

また、交通の便が不便だけではなく、道路の面でもとても困っています。多少は今、よくなっていますが、まだまだ道路がとてもへこんでいることがとても感心できません。この原因としては、2年前に開通した新東名の関係があります。となり地区の山吉田地区の工事をするために、ダンプトラックが毎日のように僕の地区を走っていたのです。毎日走るということは、排気ガスがとても汚く、空気がとても汚れる。そして、道路もそしてどんどんへこんでいく。土が落ちる、道路はすごく汚れる、これがとても僕にとってはつらいことです。

そして、僕の住んでいる地区はとても道が入り組んでいます。表から見るととても大きい村だと感じられていますが、実際中を見てみると、とても中のほうは整備が進んでいません。中には、50年以上舗装を直されていないところもあります。新城市はこういったところまで目が届いているのかと僕はとても思います。時々、道路公団の方々が回ってきますが、県道のほうまでは整備をしてくれますが、僕たちの住んでいる、あぜ道の近くの道路や40年以上ぐら前に舗装された道路は全く変えられていません。

近年、事故も起きています。原因としては、やはり道路が一番の原因だといわれています。実際、僕の家の前でも事故が1度ありました。その原因としては、冬場です。とても日影が多く、道路に雪が積もってもすぐに溶けず、この道路環境ではいけないと僕は思っています。本当にこのままでいいのか。それは本当にいいことなのか。僕はここの基礎から考えました。この基礎を解決するには、たくさん苦勞が必要だと考えました。自分たちで直すということはできませんが、僕たち若者からの目線で、もっと道をよくしてほしいという考えを新城市のほうに申請してみたらいかがかということが村の人からも挙がりました。

僕の村では、年に1回、集会を開くときがあります。そのときに、各部落の解決策などを挙げる機会もたくさん設けています。そこで一番多く挙がるのが、やはり商店がないということです。商店がないということは、本当につらいということです。高齢者が多いので、とても不便だと感じています。

バスは、朝1本、お昼に1本、夕方に2本という本当に少ない時間しかありません。

車も、通るのにも幅が狭く、最近ではとても不便に感じています。また、大雨時には側溝がごみがたまっており、大雨時には道路が冠水することも多々あります。

こういった面から僕は、まず、自分たちの地区でもそうですが、新城市のまず、環境を整えることがとても大切だと思います。

去年僕の学校の先輩で、新城市外へ出ていかれた先輩に聞いたところ、一番最初に言われたのは、とても空気環境はよろしいのですが、道路環境がとても整備ができていないということです。実際それは、ほかの方からも聞かれました。通っている作手のほうでもだんだんとそういったところで目立つことが出てきています。学校の前の側溝も水がたまり、あふれることがかなりあります。

また、田んぼがまわりにあるということもあり、とても湿地状態で、水が流れていかないということです。本当にこれは大変なことになっています。僕はまず、こういうところから考えていきたいと思います。今回僕が所属しているチームとは、全く別の話となってしまいますが、こういったところからまず考えることが一番大事だと思います。新城市に住んでほしいという気持ちがあるのであれば、こういうところからまず考える必要があると思います。大きな課題ではありますが、少しずつと解決していけば、だんだんと将来的にできることだと感じています。

そして、一番最後に感じたのが、とてもこの若者議会がいいものだということです。3年前からやり始めたと聞かれているこの若者議会も、とてもいいということが本当によくわかりました。そして、この応募用紙が来たときに、本当に迷いましたが、親とも相談してすぐ応募しました。このことを踏まえて、チームといろいろ話し合い、解決できることは解決していき、新しいプランを立てるところは、プランを立てていき、頑張っていきたいと思います。

1年間よろしくお願いします。

議長／加藤稜唯委員

次に、加瀬川雄貴委員、お願いします。

加瀬川雄貴委員

今回、第3期の若者議会に参加させていただくことになった加瀬川雄貴です。

私は、おととしの、スイスの新城ヌーシャテルへの高校生派遣に参加して以来、新城について知る機会がふえ、また、高校、大学と市外の高校、大学に通うようになって、この歴史が多く、自然豊かで人が優しく、海外とのつながりもいっぱいあるこの新城市のことが大好きになりました。そして、少しでも新城市の役に立てることに参加したいと思い、この若者議会に参加させていただきました。

今回僕は、広報・PRチームに入らせていただいたので、市内の人、さらには市外の人にも、もっともっと新城のことを知ってもらいたいと思います。新城がさらに活気あり、市民の人に愛されるようなまちをつくっていけるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

議長／加藤稜唯委員

次に、中村沙南委員、お願いします。

中村沙南委員

第3期若者議会に参加させていただくことになった中村沙南です。

私は、自分の生まれ育った新城市が大好きです。古くからの歴史があり、人の温かみもあり、誇れるところがたくさんあると思います。

この春、私は岡崎の大学に入学し、新しい生活が始まりました。さまざまところから来ている新しい友達に、自分の住んでいるまちの話をしたとき、私は驚きました。新城市のことを知っている人がほとんどいなかったのです。場所だけでなく、新城市の名前も知らないという人が多くいました。私は改めて、新城市があまり知られていない市だと思い知らされました。しかし、それと同時に自分が主体的に取り組み、新城市の魅力を発信していきたい。市外の人にももっと新城市のことを知ってもらいたいとも思いました。

今回私は、広報魅力創出チームとして、観光パンフレット作成に力を入れたいと考えています。若者ならではの目線を生かし、同年代の女性などアクティブに活動できる人をターゲットとした魅力発信ができたらと思います。

そのためには、自分たち新城市民がもっと新城のことを知る必要があると考えます。新城市には、市民でさえ知らない魅力がたくさんあると思います。市外だけではなく、市内への魅力発信にも取り組みたいと考えています。この魅力あふれる新城市を多くの人に知ってもらい、そして多くの人に訪れてもらうため、1年間精いっぱい頑張ります。

よろしくお願いします。

議長／加藤稔唯委員

ありがとうございました。

なお、瀬野尾宗伺委員については、都合により欠席されています。

それでは、若者議会委員に引き続き、若者議会市外委員からお一人ずつ所信表明をお願いします。

それでは、三浦拓真市外委員からお願いします。

三浦拓真市外委員

こんばんは。このたび新城市若者議会市外委員に選任いただきました、愛知大学地域政策学部2年の三浦拓真と申します。出身は愛知県額田郡の幸田町というまちです。

今回はまず、私がこの市外委員に応募した理由をお話させていただきたいと思います。そもそも私はこの若者議会を知ったきっかけは、大学の鈴木 誠教授からの紹介がきっかけです。教授からは、新城市は愛知県内唯一の消滅可能性都市に指定されて以来、積極的にその改革に取り組んできており、その中でも特にこの若者議会というのは、日本で初めて条例によって制定された議会で、全国から注目されているというお話を聞きました。1,000万円の予算がつき、実際に若者がこのように政策をやるという場というのは、全国にめったにありません。私は、この取り組みに大変関心を抱き、地域政策学部の学生としてぜひ参加させていただきたいと思い、今回応募させていただきました。

先日の若者議会準備会で、私は教育ブランディングチームに所属させていただくこと

になりました。この事業は、今年度が具体的に事業を行っていく初めての期であるということで、これから困難なことがもちろん生じてくると思うんですが、私は市外委員として少しでもこの新城の力になれるよう、精いっぱい努めていきたいと考えています。

また、私は今年度、愛知大学の地域貢献活動という活動の一環として、愛知大学若者議会というグループを立ち上げました。このグループは、若者の政治行政参加の研究と促進というのを目標にしているんですが、発足のきっかけとなったのは、この新城の若者議会です。今回は残念ながら、この若者議会には参加してはいませんが、新城市の取り組みについて学びたいと考えている学生がグループに12名います。

今後グループとしては、今月新城を視察したあと、8月ごろにまちなみ情報センター、「もっせはーと」でのイベント開催を予定しています。それを皮切りに、今後連携を深めていきたいと考えておりますので、委員の皆さんどうぞよろしくお願いいたします。

以上で終わります。

議長／加藤稜唯委員

次に、瀧谷大和市外委員、お願いします。

瀧谷大和市外委員

このたび市外委員に選任されました愛知大学地域政策学部1年、瀧谷大和です。

私は、静岡県浜松市に生まれ育ち、今も浜松市に住んでいます。正直に申し上げますと、若者議会のことも新城市のことは、全く知りませんでした。知ることになったのは、愛知大学地域政策学部の活動の1つである地域貢献活動の説明会でした。そこで、若者議会の先輩方や、市役所の方々の話を聞き驚きました。新城市から予算をいただき、新城市を若者が活躍できるまちにするために、自分たちで政策を考え、実行するという点についてです。

また、この活動の仕組みは、一般の地方公務員と正確には違うかもしれませんが、類似している点が多いと思います。私は、地方公務員志望です。その仕事がどのようなものなのか、見学したり、説明を聞いたりするのではなく、実際に私自身が活動できるというのは、めったにない機会です。その機会を私自身の成長の糧にできるよう精いっぱい取り組みたいと思っています。

この1年、先輩方の功績に恥じないように、新城市を若者議会の政策で盛り上げていきたいと思っています。まずは、私自身が新城市のことを知ることから始めたいと思っています。1年間よろしくお願いします。

議長／加藤稜唯委員

次に、中川 光市外委員、お願いします。

中川 光市外委員

皆さん、こんばんは。このたび市外委員として委嘱されました中川 光です。

私は、岡崎市役所に勤務する3年目の市職員です。岡崎市は人口38万人を有しますが、その岡崎市でも生産年齢人口の減少が既に始まっており、若者にいかにまちを知ってもら

うか、いかに自発的にまちづくりに取り組んでいただくかということは、岡崎市でも新城市でも共通した課題だと認識しております。

新城若者議会では、施策を立案し、答申を作成いたしますが、施策を立案するには、現状を知り、あるべき姿を想定し、そこに到達する過程を思い描く、そういったプロセスが必要になります。したがって、新城若者議会では、その過程において若者が自分の地域の現状を知り、つくりたい未来をつくっていくための大きなきっかけになると考えています。

今回私は、ブラッシュアップチームの一員として、まちなみ情報センターを主に担当いたします。まちなみ情報センターでは、栄町にあるまちなみ情報センター多世代間の交流が果たせるよう、1年目、2年目の若者議会の活動を引き継ぎ、さらにパワーアップしていくように励んでいきます。

私は、岡崎市にて、空き店舗撲滅運動、「ここdeやるZone」と銘打ってプライベートで岡崎市の中心市街地に空き店舗を借りて活動しています。

そこでは、多世代間の交流スペースとなるよう、昨年1年間で180回のイベントを実施し、延べ1,800の方に来ていただきました。また、200万円近くが地域の商店等で消費されました。そこでは、和菓子屋を営む70代の店主の方と、地元の20代の大学生が新商品について議論するといった多世代間の交流が生まれています。こうした経験をもとにまちなみ情報センター事業としても地域の人にとって、あるべきすばらしい交流の場となるよう、取り組んでいきたいと思っております。

1年間の活動においては、これまで所信表明をされてきたとおり、若いエネルギッシュな委員の方、またメンターの方を初めとした、さまざまな方々と協働し、これからの若者議会がより実りのあるものになるよう、精いっぱい頑張っております。ここに御来場の皆様におかれましても、何とぞ若者議会に御注目いただき、また、若者議会の活動にぜひ御参加いただきますよう、お願い申し上げます。

それでは、皆様、1年間よろしくお願いたします。

議長／加藤稜唯委員

次に、柴田魁人市外委員、お願いします。

柴田魁人市外委員

このたび市外委員に選任された柴田魁人です。

まず、僕がこの事業を知ったきっかけは、愛知大学の地域貢献活動の説明会でした。たくさんの事業があった中で、自分の力で事業を動かしていけるものは少なく、若者議会の説明を聞いたときに、こんなものがあるのかと驚き、そして自分の力を試してみたいと思い、これに応募しました。さらに、愛知大学内での授業では得られない、自分の将来に価値のある知識、情報が学んでいけるのではないかと思ったことも理由です。

漠然とした夢ですが、将来教師になるか、市役所などでの公務員として働きたいと考えています。しかし、僕は市役所に関して無知なところが多いです。したがって、市の事業に参加することで、身をもって体験することができ、さまざまなことが聞けると思ったからです。それだけでなく、これは行政と連携する事業であるので、ということは、自分

の意見を都市に反映することのできる事業であると考えました。そして、こんなおもしろそうなことはないと思ったのが一番の理由です。

そして、これから取り組んでいきたいことは、僕は前回の準備会で教育ブランディングチームのメンバーとなりました。新城市民一人一人がシチズンシップを持ち、新城に残りたいと思えたり、市外に行っても新城はいいまちだと思える若者をふやしていくことです。そのシチズンシップをはぐくむために、シチズンシップ教育に力を入れていきたいです。今まで行っていたことに加えて、小学校などに手を広げたり、子どもだけではなく、親等への説明会を開いたりして、親から子どもへ精神をつないでいくことで、シチズンシップ教育を向上させていくことができるのではないかと考えました。さらに、新城市外の人間の視点で意見を発信していきたいです。

しかし、僕自身、新城について理解できていない部分が多くあります。なので、新城について若者議会のメンバーに教えてもらい、自分自身勉強していきながら新城の成長、発展に貢献していこうと思います。

1年間よろしくお願いします。

議長／加藤稜唯委員

次に、飯田雄介市外委員、お願いします。

飯田雄介市外委員

こんばんは。このたび第3期市外委員に選ばれました、飯田雄介と申します。

私は名古屋市で会社員を勤めておりまして、まず、私の若者議会の知ったきっかけからお話したいと思います。私の友人に新城在住の方がいまして、その友人が前期、第2期の若者議会に参加したことがきっかけで、若者議会を知りました。その友人との交流の中で、新城の魅力を知りまして、今回若者議会に応募いたしました。

私の思う新城の魅力というのは、この大自然だと思っております。名古屋では見られない星空ですとか、川のきれいな水質の流れる川ですとか、そういった乳岩ですとか、そういったところを見てきた中で、そういった魅力に私は感動しました。

私は、今回の若者議会で広報部として活動します。私の担当は、ふるさと納税になりますので、そういった新城の魅力をふるさと納税を通して、伝えていけたらと思います。

どうぞ1年間、よろしくお願いします。

議長／加藤稜唯委員

ありがとうございました。

それでは、次に、少し順番が前後してしまいましたが、伊藤芳隆委員、所信表明のほうをお願いいたします。

伊藤芳隆委員

今回、若者議会の市内委員として選任された伊藤芳隆です。

私はこの新城で生まれ、この新城で中学校まで育ちました。その後5年間、市外で寮で過ごしていました。その寮で私は、まず自己紹介しました。そのときに、出身地はと聞

かれたときに、新城と答えました。しかし、新城と答えたところで、周りの人はその新城の場所を知らなかったりとか、また、その新城を知っていたとしても、それがどういうところとかいうことを知りませんでした。彼らに、長篠の戦いがあった場所と言いましたが、いまいちびんと来ていない感じでした。彼らは、長篠という歴史と新城というものが彼らの頭の中でつながってはいませんでした。

また、私の住んでいるところは、桜淵が近く、桜淵は毎年4月になると、桜がとても美しいです。なので、私は新城が市外の人にも知られているような有名な観光スポットだと思っていました。しかし、実際外に出てみるとそうではないことがわかりました。

そこで私は、市外の人たちに対して、より新城の魅力を伝えたいということを思いました。

また、この若者議会という活動を知ったとき、私はとても驚きました。私より年齢の低い人たちを含み、この新城のために活動しているということに感銘を受けて、同時にこの中学まで過ごしていた僕が、この新城に対して何も貢献できていないということにふがいなさを感じました。そこで、この若者議会という活動を知り、ぜひ参加してみたいと思い、参加させていただきました。この機会を設けていただきとてもありがたいと思っております。

若者議会では、広報部のふるさと納税についてかかわっていくことになりました。若者議会を通じて、この新城の魅力を市外の人に伝えていけたらよかったですと思います。

1年間よろしくお願いします。

議長／加藤稜唯委員

ありがとうございました。

6. 市議会議長あいさつ

議長／加藤稜唯委員

それでは、最後に大変お忙しい中、御出席をいただきました、下江市議会議長様から御挨拶を賜りたいと存じます。下江議長様、お願いします。

新城市議会議長／下江洋行

第3回の若者議会の委員の皆さん、きょうはありがとうございます。そして、お疲れ様でした。

これほど多くのカメラが議場の中で回ることというのは、私たちの議会、普段、議会の本会議、委員会の中でもめったにないというか、ないことでありまして、今、気がついたらここにもカメラがついておりまして、ちょっとびっくりしたんですけれども、この議場というのは、独特の雰囲気がありますし、こうしたカメラが回り、注目をされている中での所信表明、きっと緊張されたことと思います。皆さんが本当に自らの意思で、若者議会の委員に手を挙げていただいたことに本当に感謝を申し上げます。人から頼まれてやるというのとは違って、やはり自分の意思でやるということには、その先の行動にも、結果にも責任が伴うものでありまして、人から頼まれるとやっぱり、僕は頼まれてやったのだから、という逃げ道をどこかつくっちゃうところがあるのかなと思うんですけれども、そ

うした責任もかみしめながら、皆さん新城市に対する思い、そして熱意を所信表明の中でしっかりしていただいたんだなと思ひまして、私、きょうは副議長と一緒に同席しているわけでありすけれども、皆さんの所信表明を受け止めさせていただきました。

これから会議を続けていくことになると思うんですけれども、昨年、一昨年の予定と同じであれば、8月に市のほうに提言する政策の中間発表を行い、そして最終的には、11月、秋に政策を答申するという、こういうスケジュールで進んでいくのかなというように思ひます。私たち議会との接点につきましては、年が明けて2月の初旬に皆様方が政策として提言してくれた各、昨年は7つの政策でしたかね、に対して、議会との意見交換を行うという、こういう場を持たせていただきました。どうしてもこうした1回の意見交換では、皆様方の政策を考える上での思いであるとか、それから皆様方に私どもが助言できることなんかも含めまして、十分な情報共有ができないかなということも思ひしておりますので、今年はまだちょっとわかりませんけれども、皆様方が11月、秋の答申に至るまでの過程で、議会との情報共有、そういうことができるような、また意見交換ができるような場もつくれたらなというように考えたいというように思ひしております。

先ほど、所信表明の中で、有権者の年齢が18歳まで下げられることをちょっと触れられた方がいらっしやいましたけれども、市の公共政策は、福祉であったり、医療であったり、それから産業振興、さらには先ほどもお話がありました道路、水道とかインフラの整備等、大変多岐にわたります。そうしたことを皆さんが新城市のこれからのまちづくりを政策として考え、勉強する中で、皆様方が今後あります選挙におきまして、有権者の政策を吟味する上で、必ずしっかり皆様方の学ぶことの多い、しっかり勉強できる機会であろうかと思ひます。そうした意味におきまして、この若者議会の本当に活動というのは、皆さんを大きく成長させていただく活動であるというように確信をしております。

そして、この1年間、来年の3月末までということですので、約9カ月間ぐらいということになるんでしょうか。皆様方、それぞれ違う学校の仲間と意見を交わしたり、お話しをする機会ができる、またさらには、大学生のお兄さんやお姉さんまた、社会人の方とお話しができる。そして、皆様方には学校にクラスメートもいれば、先輩後輩もいるし、会社であれば上司であり、後輩もいる。そうした人たちの幅広い意見も聞きながら、若者として自由で斬新なアイデアで政策作りを進めていただきたいと思います。どうか1年間、楽しむことも忘れずに取り組んでください。どうぞよろしくお祈ひします。

きょうは、ありがとうございました。

議長／加藤稜唯委員

ありがとうございました。

本日は大変お忙しい中、穂積市長様、下江市議会議長様、中西市議会副議長様、広瀬副市長様、和田教育長様初め、多くの傍聴者の方々にもお越しいたいただき、まことにありがとうございました。

また、若者議会のスタートに際しまして、議場を快くお貸しいただいた下江議長様初め、市議会議員の皆様、ありがとうございました。

所信表明を聞いてもらってもわかると思ひますが、第3期若者議会、大変やる気のある委員がそろっております。私も議長として精いっぱい頑張っていきたいと思ひておりま

すので、皆様、今後とも御指導のほどよろしくお願ひいたします。

これもちまして、第1回新城市若者議会を閉会とさせていただきます。

司会／三浦企画部理事

それでは、長時間、お疲れ様でした。最後に記念撮影、事務連絡それから、ティーズインタビューがございます。若者議会委員及び市外委員の方は、引き続きよろしくお願ひします。傍聴者の皆様には、気をつけてお帰りくださいますようお願い申し上げます。

以上もちまして、平成29年度第1回若者議会を終了いたします。

午後8時40分 閉会